

@カンガルーシップ活動

共生プロジェクト 実施報告書

報告日 平成 29 年 1 月 18 日

主管学校名 京都教育大学附属幼稚園

PTA 会長名 美濃 智広

実施概要	主管校	京都教育大学附属幼稚園
	交流校	京都教育大学附属特別支援学校
	実施活動名	特別支援学校 親子遠足
	実施日時	平成 28 年 11 月 10 日
	実施場所	特別支援学校
	実施目的	特別支援学校の生徒さんが作ってくれたクッキーをいただき、特別支援学校という学校の存在を知り、交流を図る。
	実施内容	特別支援学校へ、年長親子遠足に出かけ、特別支援学校への理解を深める。
	実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 園児は、特別支援学校の学習の一環として作られた遊具で遊んだり、学習の様子を見たりすることで、特別支援学校の教育環境に触れる。 保護者は特別支援学校 高岸正司副校長から、特別支援学校の教育の概要についての話を聞く。 学校生活の中で、学習として特別支援学校生徒の作ったクッキーを親子で食べる。
参加人数	附属幼稚園園児(年長)親子 60 名×2 特別支援学校高等部生徒 10 名	

・ ・ 報告事項	内容	<p>園児たちは、豊かな自然の中で体をいっぱい動かし、支援学校の生徒さんとあいさつをして、交流することができ、また、楽しく親子で遊ばせていただきました。</p> <p>保護者は途中、副校長先生から、小、中、高等部の教育目標についてお話いただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学部では、のびのびとした自己表現ができ、意欲的に活動できる子供を育てる。 中学部では、最後までやりぬく意欲を作り互いに理解し合う社会化された個性を育てる。 高等部では、勤労意欲と職業生活や家庭生活の自立に生かせる個性を育てる。 <p>また、時間割を通して毎日の様子等を教えていただきました。</p> <p>高等部の学園祭の練習もを見せていただきました。</p> <p>支援学校で頑張っている生徒さんの様子を見せて頂いたり、色々な毎日の様子を教えて頂くことで頑張っている生徒さんへの理解が深まった。</p>
	結果	<p>高等部の生徒さんからクッキーをいただきました。</p> <p>園児も親も支援学校の生徒さんと挨拶をしたり、高等部の生徒さんの学園祭の劇の練習を見せていただいたり、色々な交流によって感動や喜びを感じることができました。</p>
	所感	<p>手作りクッキーはラッピングもとても可愛くて、心が温まるクッキーでした。</p> <p>園児もとても喜び、親子で美味しくいただきました。</p>

添付書類

6 枚



カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成29年1月18日
-----	------------

学校名	京都教育大学附属幼稚園
-----	-------------

学年	
----	--

- ・ クッキーがとてもおいしかった。
- ・ いろいろなあそびができてたのしかった。
- ・ おにいさん、おねえさんが、てをふってくれてうれしかった。
- ・ またえんそくでいきたい。
- ・ がくえんさいにいってみたい。

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成 29 年 1 月 18 日
学校名	京都教育大学附属幼稚園

- ・ 心温まるクッキーを親子で美味しくいただきました。
- ・ 支援学校の生徒さんの頑張っておられる姿を見せていただき感動しました。
- ・ これからも支援学校の生徒さんとの交流が続いていけたらいいと思います。
- ・ 子供達にとって、自然豊かな環境が素晴らしい。
- ・ クッキーを子供と頂いたとき、親子で笑顔になりました。